

総括研究報告書

1. 研究開発課題名

：開発途上国における生活習慣病のモニタリング・フレームワークの実現可能性の検討

2. 研究開発代表者：国立研究開発法人 国立国際医療研究センター

臨床研究支援部 臨床研究推進室長 松下由実

3. 研究開発の成果

平成 27 年度（2 年度）：モニタリング調査の実施、データベースの作成・統計分析

1.ヘルスセンターの機能評価に関する調査

1)方法

ベトナム中部のカインホア省において多段階層化収束抽出法を用い、10 のコミュニティヘルスセンター(CHC)（都市部から 4、農村部から 6）を選択し、非感染性疾患（NCD）の機能を調査するため、CHC のスタッフに対して調査を実施した。

（i）CHC における NCD に対するサービス提供のためのリソース(n=10)

①質問票を用いての CHC 管理職に対するインタビュー

（NCD の治療に関するスタッフ、機材、ラボテスト、薬剤、統計、予算等）

②CHC への対応の有無

（NCD の予防とコントロールにおけるポスターの有無等）

（ii）糖尿病と高血圧症に対する保健スタッフの業務の記述(n=31)

1 年以内に糖尿病または高血圧患者を診た医療スタッフに対する調査

（保健スタッフの糖尿病と高血圧症に関する診断、治療、フォローアップ）

2)結果

糖尿病の診断・治療に関する基本機材、薬剤の不備が認められた。NCD の診断に関わる人材の 1/3 は薬剤師や看護師等の医師以外の医療従事者であり、研修歴がある者は半数のみであった。

3)調査トレーニングおよび調査票の確定

調査者に対しては質問票のプレテスト、調査方法について 2 日間のトレーニングを行った後、調査票を確定した。

2.モニタリング調査の実施

1)方法

ベトナム中部のカインホア省において多段階層化収束抽出法を用い、都市部と農村部の 2 層に層化し、3 段階でサンプリングを実施し、10 コミュニティから 30 村を選び、20-70 歳の 480 人を抽出した。6 人のスーパーバイザーと 18 人の調査者で調査を実施した。対象者に、研究用採血についての説明・依頼文書と同意書を渡し、書面で同意を得た。同意の得られた人から採血し、HbA1c、空腹時血糖、総コレステロールなどを測定した。さらに身長、体重、ウエスト周囲長、ヒップ周囲長、収縮期および拡張期血圧を測定し、質問票調査で属性および社会文化的背景、糖尿病に関する知識、生活習慣や既往歴を調査した。

2)結果

- ・農村部と比べ都市部の方が糖尿病の患者数が多かった。
- ・今回の調査項目は、調査前にトレーニングを行うことにより正確に調査できた。
- ・対象者の 3 分の 2 が糖尿病についての知識がないことが明らかになった。
- ・今後、ベトナム国民へ向けて広く生活習慣病に関する知識を啓蒙していくことが必要と示唆された。